

芸術

キリスト教美術

～食(卓)のアートを通じて緋くキリスト教/美術～

いちよう塾への申込み

八王子学園都市大学いちよう塾

042-646-5621

申込み期間

～6月15日(木)

講師	田尻 真理子(こども文化学科 教授)
開講日時	①7月1日(土) ②7月8日(土) ③7月15日(土) 13:30～15:00
会場	八王子市学園都市センター(セミナー室)
内容	<p>カトリックのミサのクライマックスが、キリストの身体を頂く「聖体拝領」であるように、キリスト教と「食」には浅からぬ関係があります。また、旧約・新約を問わず、聖書には多くの「食」にまつわるエピソードが登場します。さらに、西洋絵画には、それらのエピソードに基づいた「食材」、「食事」、「食卓」などをモチーフとする作品が数多存在します。</p> <p>本講では、そうした作品に描かれたさまざまな「食(卓)」の情景から、キリスト教と食の関係を詳らかにします。</p> <p>第一回は「食事を共にすること:キリストとの食事について」 第二回は「食卓と死」について:メメント・モリ 第三回は「口実としての食材」:イコノクラスム下のキリスト教表象を予定しています。</p>
対象	18才以上
定員	24名 応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。
受講料	一般:2,500円 学生:1,200円
持ち物	筆記用具

講師プロフィール

東京藝術大学美術学部博士課程満期退学。専門は哲学・美学(感性学)・視覚文化。現在は、ハイアートもサブカルチャーも同一の俎上で考察する「視覚文化」の立場から、キリスト教芸術、とくにキリスト教と食について研究を進めている。東京純心大学現代文化学部教授。



講師からみなさまへ

世界中で多くの場合、宗教は「食」と密接なつながりを持っています。それは、ある一定の食材の禁忌であったり、調理法の指定であったり、祭事の特定の食事であったり、と多様なありかたをします。

さて、キリスト教(カトリック)は食の禁忌に関してはむしろ緩やかといえませんが、「食」との関りはきわめて濃厚な宗教と言えます。

この「キリスト教と食」との関りを、多くの絵画から探ってみませんか？